

水晶波長板:S33

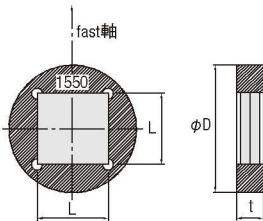
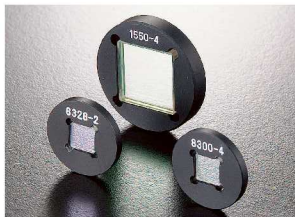
ホルダチョイス



P.3-019~,
100~

RoHS 納期
問合せ
ください

波長板は1軸性結晶である水晶を結晶軸に平行な平面で切り、入射光に位相差(レターデーション)を与える複屈折素子です。
 2枚の水晶板の結晶軸を直交させ接合した構造となっており、温度変化による位相差の影響を軽減します。
 1/4波長板、1/2波長板共に、両面に狭帯域反射防止膜を施してあります。
 結晶の持つ複屈折量は波長により異なりその位相差も変動します。従って波長板を用いて $\lambda/4$ 、あるいは $\lambda/2$ の位相差を得るためには使用波長に合せて選択する必要があり、他の波長域では所定の位相差を得ることはできません。

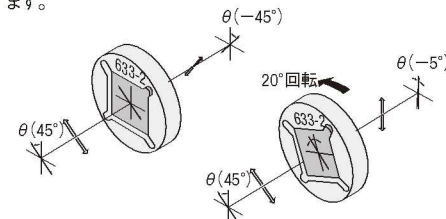


■共通仕様

材質	人工水晶
コーティング	両面ARコート
平行度	2秒以内
透過率	99%以上
位相遅れ公差	±2°(設計値による)
結晶サイズL	φ20→□7mm
	φ30→□17mm

1/2波長板

1/2波長板は、結晶軸とそれに直行する軸との間に位相差 $\pi(180^\circ)$ を与えます。結晶軸となす角 θ で入射した直線偏光は波長板通過後、方位角 $-\theta$ の直線偏光となり出射します。従って、波長板を回転させることにより、直線偏光の方位を任意に変えることができます。例えば偏光ビームスプリッタ(PBS)の直前に配置した1/2波長板は、それを回転させることにより、PBSの光量分岐比を制御することができます。



		SPEC							
型式	位相差(レターデーション)	適応レーザー	波長(nm)	素子寸法(mm)	外径φDx(mm)	価格			
S33A-355-2	λ/2	YAG	354.6	□7×2.0t	φ20×2.5	¥55,000			
S33A-405-2		LD	405.0			¥50,000			
S33A-633-2		He-Ne	632.8			□17×5.0t (2.0t) ※1参照		φ30×5.5	¥70,000
S33A-650-2		LD	650.0						
S33A-780-2		LD	780.0						
S33A-830-2		LD	830.0						
S33A-1064-2		YAG	1064.0						
S33-405-2		LD	405.0						
S33-780-2		LD	780.0						
S33-830-2		LD	830.0						
S33-1064-2		YAG	1064.0						

※1. S33は在庫が無くなり次第、厚みが5.0tから2.0tに変更になります。
 ※2. 在庫無くなり次第、販売中止品がございます。

1/4波長板

1/4波長板は、結晶軸とそれに直行する軸との間に位相差 $\pi/2(90^\circ)$ を与えます。結晶軸に対し45°方位で直線偏光を入射させた場合は円偏光となり、逆に円偏光入射時は方位45°の直線偏光となって出射します。楕円偏光を直線偏光に変換する場合にも使用されます。



		SPEC							
型式	位相差(レターデーション)	適応レーザー	波長(nm)	素子寸法(mm)	外径φDx(mm)	価格			
S33A-405-4	λ/4	LD	405.0	□7×2.0t	φ20×2.5	¥50,000			
S33A-633-4		He-Ne	632.8			□17×5.0t (2.0t) ※1参照		φ30×5.5	¥70,000
S33A-650-4		LD	650.0						
S33A-780-4		LD	780.0						
S33A-830-4		LD	830.0						
S33A-980-4		LD	980.0						
S33A-1064-4		YAG	1064.0						
S33-405-4		LD	405.0						
S33-633-4		He-Ne	632.8						
S33-780-4		LD	780.0						
S33-830-4		LD	830.0						
S33-1064-4		YAG	1064.0						

※1. S33は在庫が無くなり次第、厚みが5.0tから2.0tに変更になります。
 ※2. 在庫無くなり次第、販売中止品がございます。

偏光子ホルダ(光軸25mm微調付き):F542

OPS

CAD
2D・3D

RoHS

3
数量
1~6
目録発送



ホルダチョイス
 ・F541-20 (φ 20mm)
 ・F541-30 (φ 30mm)
 ▶P.3-024~

0点合わせ機構使用方法

- ①偏光子を回転させ、0点に設定したい位置に合わせます。
- ②クランプを締め固定します。
- ③目盛固定ねじをゆるめ、目盛板のみを回転させ、0点を基準線に合わせます。
- ④目盛固定ねじを締め、目盛板を固定します。
- ⑤クランプをゆるめることにより、基準に対して回転させることができます。



偏光子ホルダ:F62

CAD
2D・3D

RoHS

3
数量
1~6
目録発送



ホルダチョイス
 ・F63-30N (φ 30mm)
 ▶P.3-102~

0点合わせ機構使用方法

- ①偏光子を回転させ、目盛を0点に設定したい位置に合わせます。その後、回転固定ノブを締め固定します。
- ②目盛固定ねじをゆるめ、目盛板のみを回転させ、0点を基準線に合わせます。
- ③目盛固定ねじを締め、目盛板を固定します。
- ④回転固定ノブをゆるめ、基準に対して回転させることができます。



※これらの製品は本来自立しません。

光学素子

ガイダンス

ミラー

レンズ

偏光素子

ビームスプリッタ

プリズム

基板

ダイクロイック

フィルタ

ピンホール